

# 第6回香美地区短詩型文学振興大会

(9月8日・のいちふれあいセンター)

## 香美地区文化協会会長賞

※ご紹介している受賞作品は市内の方の作品のみです。

### 短歌の部

(選者 楠瀬兵五郎氏)

特選 連日を汗にまみれて帰宅の息

小物の農機今日売れしと云う

佐々木 真里

優秀

弟がこころ遺しし此の磯の

岩にまぼろしトコロテングサ

林 敏子

優秀

死んじや駄目生きてくださいあなたには

いい日がきつときつとくるから

吉本 悦子

### 俳句の部

(選者 前田欣一氏)

優秀

山里に捨て田の幾つ早星

優秀

田の中の磬早苗饗の捨て徳利

佳作

母の里終りの盆に招かれし

佳作

河童忌のおよがせて切る豆腐かな

### 川柳の部

(選者 常石麗子氏)

佳作 子をしかり鬼の心で自立まつ

堀 正子

## 吉井勇記念館だより

山里ミニコンサート 10月20日(土) 14時〜15時

香美市童謡を楽しむ会の皆さんによるコンサートを開催します。

【場所】吉井勇記念館 ※雨天の場合、記念館隣の猪野々集会所

土佐山田町在住の島崎照代さん(メゾソプラノ)を講師に迎え、長井薫さんのピアノ伴奏にのせ、なじみ深い日本の曲を披露します。

【講師】島崎照代さん(日本演奏連盟会員、高知音楽協会代表、女声合唱団リングライン指揮者)

また、吉井勇作詞の「ゴンドラの唄」や「朝の散歩」なども、お聞きいただけます。

【合唱】香美市童謡を楽しむ会

【問い合わせ先】吉井勇記念館

☎58・2220

※参加無料

菊花展 10月31日(水)〜11月5日(月) 終日

香美市内の菊愛好家が、丹精込めて育てた菊花を展示します。大輪菊を中心に、色鮮やかな菊花が、皆さんをお迎えます。

■喫茶コーナー

菊花展開催中の日曜日に、無料喫茶コーナーを開設します。菊を觀賞しながら、ゆっくりと山峡の秋をお楽しみください。

【日時】11月4日(日) 10時〜16時

【料金】無料

【問い合わせ先】吉井勇記念館

【場所】吉井勇記念館敷地内

☎58・2220



### ◆一般投稿作品◆

広報委員会 選

この辺り白木谷層蟹白し  
病院の待合ひ席に一位の実  
柿たわわ子規の詠んだる和みかな  
かのこ百合松に寄り添い花開く  
健やかに白壽迎うや稲の花  
熊蟬の朝から鳴きて雲もなし  
今日も又雑草引きて汗の玉  
涼しさや石積みトンネル鉄路跡  
風通う縁にくむ茶も秋の色  
夏空を意図不明へり旋回す  
炎天下切り株の上柚子繁り  
父母のことふと偲ぶる秋の雲  
老一人這い蹲って芝を刈る

福留とものり 山崎 貴子  
森本 幸美  
坂本美智子  
岡田美代子  
北村千鶴子  
有澤 春江  
千頭 野草  
森本 純喜  
高野 和一  
小野寺朱美  
三谷 誠郎  
山崎 寿美

公文 春紀  
岡本かほる  
高橋 章  
明石ゆきゑ  
北村 幸子  
西川 常夫  
甲藤 卓雄  
野崎 典子  
北村 里子  
小野川順子

うちかえす波も穏やか涼新た  
小溝沿い近道なじみの赤手蟹  
秋涼し鉢の植え換え促され  
諳んぜし軍人勅諭敗戦忌

前田 芳子  
明石 英子  
中内ゆかり  
竹内 る草

青山河燠らせ熟年バーベキュー  
迷ひ来し犬夏草の中に消え  
涼新た厨に放つ皿の音  
盆休み村へ活氣の戻りけり  
盆の灯や海霧の匂ひに馴れて住む  
肥満でもすこし小粋に藍浴衣  
娘盛りといふ一刻カンナの緋  
夕萱のやさしき色に風見えて

佐竹 洋子  
利根 弘子  
古川 信子  
小松 愛子  
中澤 美晴  
森本 健代  
山崎 鈴子  
吉田 芳

### ◆かがみ野俳句会◆

夏草や吾が祖鎮もる自然石  
刃に触れて自ら割れる西瓜かな  
巢立ちてもまた仰ぐ癖燕の巢  
滴りに遅速のあるを見てをりぬ  
かんの蟲ふさぎの蟲や草いきれ  
かなかなの声の揃ひしうしろ山  
一日を草矢飛ばして遣り過ぐす  
迎火を抱きあぐるごと吊るしけり  
流燈に尽きせぬおもひありにけり  
秋暑し特攻兵の碑の影に  
冷奴食うて先進国なりし

乾 真紀子  
奥宮 慧美  
久保内鏡子  
黒岩 幸子  
黒岩 千英子  
小松 隆之  
小松 完  
小松 昇  
杉山 春萌  
野村 里史  
前田 欣一  
前田 秀女  
間崎 和代  
森本 之子  
山崎かずみ  
山中 晶子  
山中 瑞輝

### ◆土佐山田町俳句会◆

出勤を阻む俄の雷雨かな  
暁霞村有瀬の隠れ滝の虹  
一筋の風に癒され残暑かな  
喪ごもりを閉づ一斉に蟬時雨  
故郷の予岳寺の鐘秋に入る  
祭りばやしが石垣の径くだる  
夕すげに逢うため坂をのぼり行く  
一筋に生きしよ白い曼珠紗華  
松扇や緑の陰につつましく  
水遊び叱られし子の濡れ足らず  
雲の峰若きスコアボードに0並ぶ  
サーファーの波待つ沖に雲湧けり

山中 明石  
明石 蕪生  
大石 邦男  
前田 小夜  
前田 三郎  
前田 美智子  
安丸 楨子  
森田 菊恵  
森田 貞男  
橋本 昭和  
樫谷 雅道  
田村 一翠

### ◆今月のキラリ◆

健やかに白壽迎うや稲の花  
白寿は百の字から一を取れば白。すなわち九十九歳の賀の祝い。稲の花のように清楚で健やかに白寿を迎えられたためたさである。

### 俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。(ただし、ハガキで投稿の場合、一人一枚のハガキで5句(首)以内)  
▼かい書で、住所・氏名・電話番号を必ず明記してください。  
▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。  
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。  
【投稿先】総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係  
〒782-18501(住所記載不要) FAX 53・5958